

第26回 全国高等学校総合文化祭 神奈川大会 放送部門 リハーサル大会

日時 2001年11月18日(日)

会場 川崎市教育文化会館



主催：神奈川県高等学校文化連盟

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

神奈川県教育委員会

主管：神奈川県高等学校文化連盟 放送・情報専門部

(神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会)

後援：

TKGTV



Fm yokohama 84.7

朝日新聞社横浜支局・神奈川新聞社

目 次

1	日 程	1
2	会場案内	2
3	生徒・教員業務分担	4
4	全総文祭放送部門リハーサル大会実施要領	6
5	全総文祭放送部門リハーサル大会審査の観点	11
6	全総文祭放送部門リハーサル大会審査員一覧	13
7	全総文祭放送部門リハーサル大会出場者一覧	14
8	神奈川県高等学校総合文化祭の紹介	19
9	諸注意	

今回のリハーサル大会は、全国大会に順じて交流会を以下の時間に行います。ぜひ参加してください。

☆大ホール ① 12:00～12:20

② 14:25～14:40

☆大会議室 ① 11:45～12:05

日 程

- 9 : 0 0 ~ 9 : 3 0 総合受付 : ホール中 2 階ロビー
9 : 2 0 ~ 9 : 4 0 開 会 式 : 大ホール
1 0 : 0 0 ~ 1 4 : 2 0 審 査
※審査時間は、プログラムで確認してください。
1 4 : 4 5 ~ (予 定) 閉 会 式 : 大ホール

開 閉 会 式

◇開会式 9 : 2 0

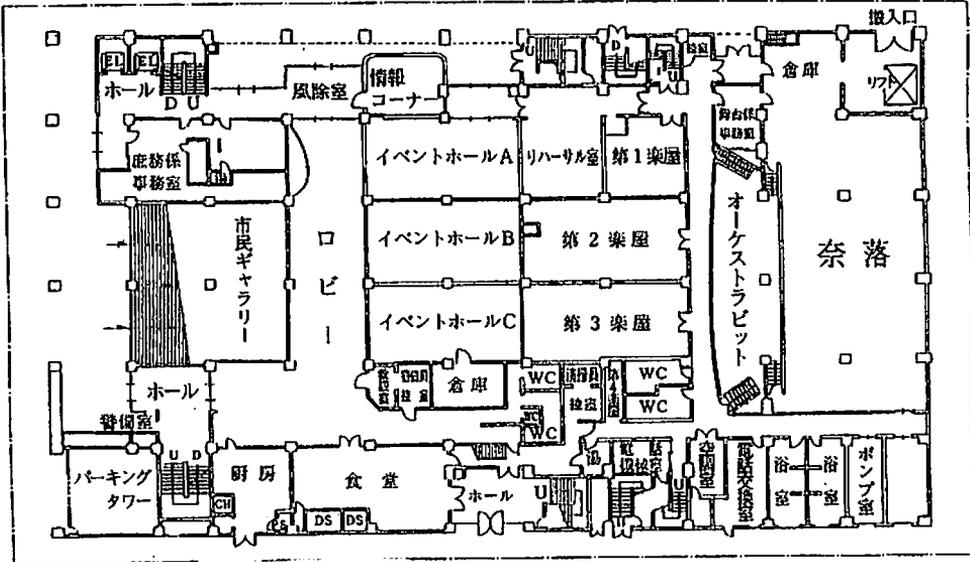
1. 開会宣言
放送部門生徒実行委員長 県立大師高等学校 富樫 美香 さん
2. 全国高等学校文化連盟 放送専門部 事務局次長 挨拶
県立綾瀬西高等学校 本田 博邦 様
3. 神奈川県高等学校文化連盟 放送・情報専門部会長 挨拶
県立厚木南高等学校長 五十嵐 勲 様
4. 来賓紹介
5. 審査員紹介
6. 特別審査員紹介
7. 神奈川大会放送部門ビデオ「町と街」
8. 生徒委員紹介

◇閉会式 1 4 : 4 5 (予 定)

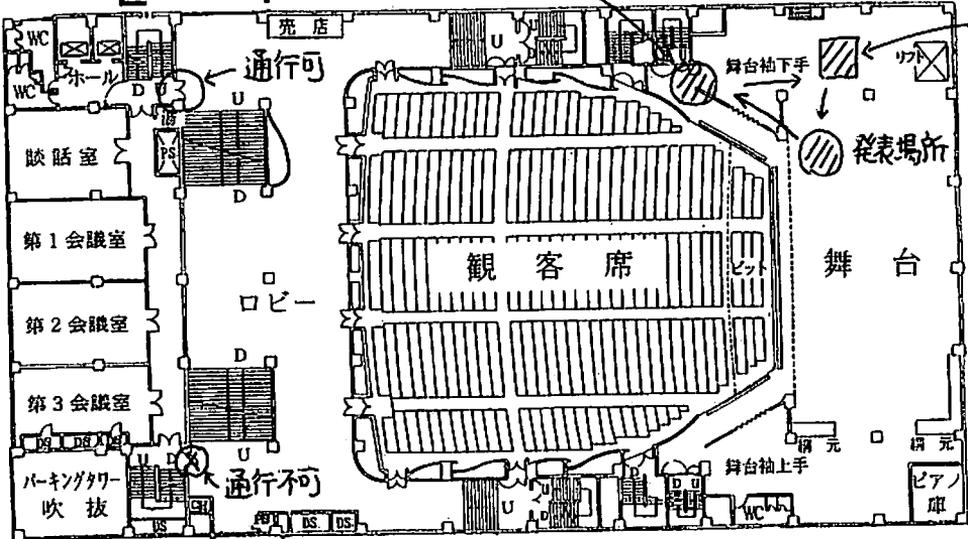
1. 特別審査員による講評
アナウンス・朗読部門、AP・VM部門
2. 審査結果発表・表彰
放送部門副部長 県立六ツ川高等学校 井浦 洋 先生
3. 生徒特別賞発表・表彰
放送部門生徒実行副委員長 県立永谷高等学校 鈴木 亨枝 さん
4. 神奈川大会生徒委員会から
放送部門生徒実行委員長 県立大師高等学校 富樫 美香 さん
5. 神奈川大会に向けて
放送部門部長 県立厚木南高等学校長 五十嵐 勲 様
6. 福岡大会発表用神奈川紹介ビデオ
県立永谷高等学校放送局作成
7. 神奈川大会放送部門ビデオ「町と街」
8. 閉会のことば
放送部門生徒実行委員長 県立大師高等学校 富樫 美香 さん

川崎市教育文化会館

1 F S 1 F



2 F AP・VM 集合場所 S 2 F



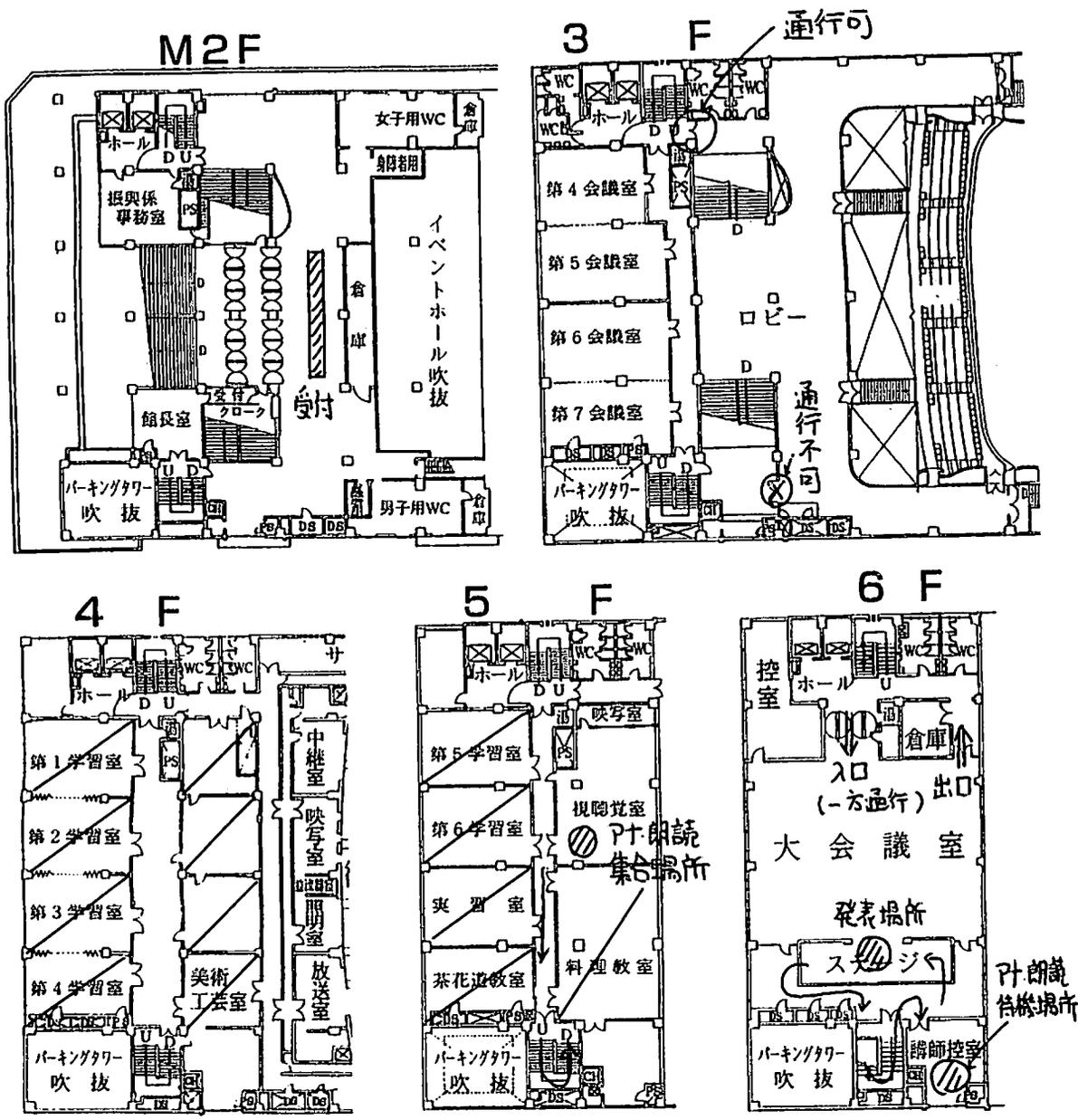
リハーサル大会

本大会(来年8月)

開閉会式
 AP・VM会場
 アナ・朗読会場
 発声練習会場
 大会実施本部
 審査員控室
 引率教員控室

大ホール(2階)
 大ホール(2階)
 大会議室(6階)
 視聴覚室(5階)
 第1・2会議室(2階)
 談話室(2階)
 第4会議室(3階)

大ホール(2階)
 大ホール(2階)
 大会議室(6階)
 視聴覚室(5階)
 第1~3会議室(2階)
 談話室(2階)
 なし



リハーサル大会

本大会 (来年 8 月)

AP・VM本部
 アナ・朗読本部
 運営要員控室

第3楽屋 (1階)
 第1・2会議室 (2階)
 第2楽屋 (1階)
 第3会議室 (3階)
 第5~7会議室 (3階)
 なし
 なし

参加者控室
 救護室
 情報部門

リハ控室・1~4楽屋 (1階)
 第5・6学習室 (5階)
 第1~4学習室 (4階)
 第4~7会議室 (3階)
 茶華道室 (5階)
 イベントホール (1階)

生徒・教員 業務分担

【 生徒 役割分担 】

◎ 本 部

- 総 務** : 富樫 美香・新名 啓子 (県立大師)
 日置 秀馬・池田 良輔 (県立六ツ川)
 酒井 絢子・佐久間 珠理 (県立追浜)
 熊澤 礼花 (県立平塚江南)
 岡庭 智彦 (県立多摩)
 鈴木 亨枝 (県立永谷)
 城所 友美 (県立元石川)
- 得点集計** : 林 聡 ・田中 彬浩 (法政大第二)
- 審査員担当** : 正垣 知美・佐藤 まりの (法政女子)
 後藤 祐太・岡崎 直樹 (県立相模大野)
- 記 録** : 小島 明日香・松川 裕子 (県立六ツ川)
 平本 香苗 ・斉藤 真純 (県立有馬)
- 受 付** : 北村 紗帆・元木 朱美 (県立市が尾)
 . (横浜女学院)
- 司会者** : 水流 里美・橋本 真喜子 (県立平塚江南)
 沖久 真鈴・小川 美弥子 (富士見丘)
 星 久美子・大石 奈穂子・持丸 愛 (県立鶴見)
 加島 慎也 (県立座間)
 山崎 江里子 (県立多摩)
 平野 賢治 (県立金井)
- 会場の片付け** : 誘導・受付係の生徒

◎ A P ・ V M 部門 (大ホール)

- 進 行** : 飯田 沙織 ・中川 茜乃 (捜真女学校)
 小峰 かおり・星上 尚子 (県立大和東)
- 技 術** : 鳥巢 佑香・和田 昌久・清水 亜美 (県立永谷)
 石井 舞妃・根岸 美佳・安田 理絵 (県立追浜)
 須藤 江里子・平井 大輔 (県立神奈川工業)
 野寺 由紀 ・近藤 明菜 (東海大相模)
 子安 由利子・下條 永美子 (県立神奈川総合)
 烏田 雄輔 ・高村 真代 (県立鶴見)
 小倉 映利加・竹村 沙弥香 (川崎市立商業)
 岩澤 亜沙美・遠藤 貴彬 (川崎市立商業)
- 誘 導** : 山田 恵美 ・渡邊 正紀 (県立座間)

◎ アナウンス・朗読部門（大会議室）

- 進行 : 井上 綾 ・海老澤 茉夕（相模女子大）
小河内 麻衣・中野 可愛（県立多摩）
- 技術 : 伊藤 真委子・高橋 恵美（県立大師）
小林 竜太 ・耒住 洋輔（県立大和東）
前田 菜都美・猪俣 美菜（県立元石川）
永井 将悟・西川 諒・高瀬 弘基（県立金井）
倉持 和明（県立大船工技）
- 誘導 : 筒井 彩乃・小林 晶・内野 憲人（県立大和西）
山内 珠美・畑田 真世乃・篠田 直人・土井 猛（県立柿生）
倉迫 万梨（県立新城）

【 教員 役割分担 】

◎ 本 部

- 総務 : 井浦 洋 （県立六ツ川） 川又 弘明（県立元石川）
畠山 純一（県立追浜） 横須賀 真（県立柿生）
- 得点集計 : 北詰 昌敬（法政第二） 相澤 秀樹（麻布大淵野辺）
- 審査員担当 : 石川 岩夫（県立相模田名） 河本 慶子（法政女子）
- 記録 : 黒部 直喜（県立六ツ川） 小池 瑞夫（県立有馬）
- 受付 : 川口 修 （県立厚木南定時） 川島 あずさ（横浜女学院）

◎ AP・VM部門（大ホール）

- 責任者 : 藤田 吉雄（川崎市立商業）
- 進行 : 杉浦 敏昭（県立豊田） 関 弘之（県立大和東）
三宅 義人（捜真女学校）
- 技術 : 小澤 元 （県立永谷） 後藤 宗治（県立神奈川工業）
高井 健次（川崎市立商業） 中丸 隆夫（東海大相模）
- 誘導 : 藤沼 総輔（県立磯子） 下田 加容子（県立座間）

◎ アナウンス・朗読部門（大会議室）

- 責任者 : 角田 亨 （相模女子大高等部）
- 進行 : 海部 弘 （県立多摩） 両毛 明史（県立足柄）
- 技術 : 小林 正英（県立大師） 金子 英樹（県立大船工技）
本藤 伸弘（県立七里ヶ浜）
- 誘導 : 中沢 邦治（県立大和西） 木幡 悦子（県立新城）

**第26回全国高等学校総合文化祭放送部門 リハーサル大会
(兼 第16回 神奈川県高等学校総合文化祭放送部門大会)
実施要領**

1. 目的

- (1) 生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、正しいマスコミュニケーションの理解をはかる。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて校内放送活動の活性化をはかる。
- (2) 第26回全国高等学校総合文化祭放送部門大会と同一の会場を使用したリハーサル大会を開催し、本大会成功に向けて、生徒及び教員の大会運営のリハーサルを行う。

2. 主催・主管

主催：神奈川県高等学校文化連盟

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

神奈川県教育委員会

川崎市教育委員会

主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部会

(神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会)

後援：TVKテレビ・FMヨコハマ・朝日新聞社横浜支局・神奈川新聞社

3. 参加資格

【神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門】

1・2年生とする。

【全国高等学校総合文化祭(神奈川大会) 放送部門】

県大会で優秀な成績を修めた生徒・作品を、順位順に上位から推薦する。

ただし、以下に項目に該当する場合は、全国大会に推薦されない。

* 高文連未加盟校の生徒及び作品

* アナウンス・朗読部門の前年度全国大会出場経験者の生徒

* AP・VM部門の前年度全国大会出場経験者が制作代表者の作品

* AP・VM部門で、複数の作品が出場資格を得た学校における下位の作品

4. 日時

2001年11月18日(日) 9:00~16:00

・受付 9:00~ 9:20

・作品提出 ※11月11日に提出済み

・開会式 9:20~ 9:40

・審査及び交流会 10:00~15:30

・閉会式 15:30~16:00

5. **会場** : 川崎市教育文化会館 JR東海道線 川崎駅 徒歩15分

6. **部門・参加本数・参加費用**

	アナ	朗読	オーディオピクチャー	ビデオメッセージ
参加本数	2本	2本	2本	2本
参加費用	600円/人		800円/本	
高文連未加盟校	1000円/人		1200円/本	

7. **表彰**

- アナウンス・朗読 : 各1～10位
1位に教育長賞、2～6位に高文連会長賞、
7～10位に高視研会長賞
- オーディオピクチャー : 上位6作品
1位に教育長賞、2位に高文連会長賞、
3～6位に高視研会長賞
- ビデオメッセージ : 上位6作品
1位に教育長賞、2～4位に高文連会長賞、
5・6位に高視研会長賞

注1)

2002年度全国高等学校総合文化祭(神奈川)には次の本数を推薦する。

- アナウンス・朗読 各6人
オーディオピクチャー 2作品
ビデオメッセージ 4作品

※来年度は神奈川県で全国大会が開催される為、通常の2倍の数になる。

注2)

神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門最優秀作品(教育長賞)の表彰は、平成13年度神奈川県高等学校総合文化祭閉会式(2002年1月)に県総合文化祭の他部門とともに行なわれる。

注3)

審査対象作品が少なかった場合は、表彰本数を減らすことがある。

8. **審査・審査基準**

- ①各部門、教員審査員とTVK、FM横浜からの特別審査員(予定)による。
- ②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
- ③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ④詳細は、審査員およびコンテスト運営委員長の協議による。

9. 参加申込

- ①期日：2001年10月20日(土)
- ②会場：県立 神奈川総合 高校
- ③時間：参加申込 14:30~15:30 (早めに)
- ④提出物：申込用紙・領収書(アンパン・総文祭共通、要校長印・顧問印)
出場カード
参加費(※今年は、参加費が全校必要です。)

※原稿用紙の販売も行なう。

注1) 郵送などによる参加申込は一切受け付けない。

注2) 提出物については、くれぐれも間違いや忘れ物のないよう、慎重に準備し、顧問の確認を受けること。

10. 作品・台本の提出

【 11月11日(日)のアンパンの際に行うので注意すること。 】

- ①受付 9:00~9:20
受付でプログラムを受け取り、審査会場・番号を確認して、封筒・スクリプト(3部)・テープに記入する。
- ②封筒提出 9:20~9:40 (時間厳守)
記入を終えた作品封筒を、指定された場所に各自持参し係に提出する。
※APのスライド以外の物を、全て提出してください。

11. 神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門諸規定

※次年度の全国総合文化祭放送部門参加要領に準ずる。

全国総合文化祭放送部門参加要領(2002年神奈川大会)参照

A アナウンス部門

- ①内容：郷土の話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿とし、スライド(5枚以内)を併用することができる。BGMは使用できない。(校内の話題は不可。)
- ②時間：1分30秒以内。学校名、氏名を含む。
- ③審査方法：本人の発表による会場審査とする。
※例年と異なるので注意すること。
- ④使用テープ：《 使用しない 》
- ⑤録音・再生：《 使用しない 》
- ⑥計時：最初の声から最後の声までとする。
- ⑦ラベル：《 使用しない 》
- ⑧スライド映写：全国大会参加要領に準ずる。
- ⑨規格：スライド
ア) 35mm標準マウントを使用する。
イ) 映写機は1台。

B 朗読部門

- ①内容：郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とし、効果音やBGMを併用することができる。
スライドは使用できない。
 - ②時間：2分以内。校名、氏名を含む。
 - ③審査方法：本人の発表による会場審査とする。
※例年と異なるので注意すること。
 - ④使用テープ：全国大会参加要領に準ずる。
 - ⑤録音・再生：全国大会参加要領に準ずる。
(今大会は、MDも主催者が用意します。)
- ※今大会は、MD又はカセット1台のみで再生します。(2台の使用は不可)
- ⑥計時：最初の声から最後の声までとする。
 - ⑦ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

C オーディオピクチャー (AP) 部門

- ①内容：カセットテープによるステレオ音声とスライド(枚数は自由)を併用する未発表の作品とする。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない(MDも可)。
- ②時間：5分以内。
- ③使用テープ：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ④録音・再生：ステレオ再生。(今大会は、MDも主催者が用意します。)
- ⑤計時：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑥ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑦再生・スライド上映：全国大会参加要領に準ずる。
- ⑧規格：スライド
ア) 35mm標準マウントを使用する。
イ) 映写機は2台。

D ビデオメッセージ (VM) 部門

- ①内容：内容・手法は、自由とする。
自校オリジナルのビデオ作品とする。
- ②時間：5分以内。
前後に20秒の静止テストパターンを入れる。形式は問いません。
動きのあるもの、フェーダーを使用したテストパターンは禁止します。
- ③計時：番組本体についてのみ行なう。
- ④規格：ア) VTRはVHS・S-VHSとする。
イ) 音声はHi-Fi又はノーマルとする。
- ⑤ラベル：アンデパンダン大会番組制作部門規定に準ずる。
- ⑥その他：DVの使用も可とするが、DV使用校は、持ち込み再生とする。
(今大会は、ミニDVも主催者が用意します。)
上記以外の規定については、NHK杯全国高校放送コンテスト
神奈川県大会の実施要領に準ずる。

※ 共通事項

17 著作権処理についてにしたがって適切に著作権の処理を行ってください。

12. スクリプトに関する規定

記入例に沿った原稿を提出すること。

(従来の大会と異なり、全国大会の様式で提出します。)

(1) アナウンス部門

原稿は、A4版で作成し、同じ物を3部提出してください。

アナウンス
部門
原稿送付表紙
(P14-5組)

1ページ

アナウンス
原稿
(P14-3組)

2ページ

※3ページのアナウンス部門記入例を参考に、原稿を作ってください。

※「原稿送付表紙」は、A4版に拡大コピーをして使用してください。

(2) 朗読部門

原稿は、A4版で作成し、同じ物を3部提出してください。

朗読部門
原稿送付表紙
(P14-6組)

1ページ

朗読原稿
(P14-4組)

2ページ

著作権用紙

3ページ

※4ページの朗読部門記入例を参考に、原稿を作る。

※著作権の用紙は、音楽を使用した場合のみ、記入し添付してください。

※「原稿送付表紙」は、A4版に拡大コピーをして使用してください。

(3) オートビクター (AP) 部門・ビデオメッセージ部門 (VM) 部門

原稿は、B4版で作成し袋とじにしてB5版にし、1部提出してください。

著作権用紙

最終ページ

本文 本文
(縦書き) (縦書き)

2ページ～

AP部門
VM部門
台本送付表紙
(P14-7,8組)

1ページ

※本文の用紙は、NHK大会の「テレビ用の原稿用紙」を使用してください。

※「制作意図」「スタッフ表」は、必要ありません。

※音楽を使用しない場合でも、「0円」の著作権用紙を作ってください。

13. その他

上記以外の規定については、第48回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準ずる。

第26回全国高等学校総合文化祭放送部門 リハーサル大会
審査の観点

《アナウンス部門》

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 原稿に関する項目を30点、アナウンスの技術に関する項目を70点とする。
3. 原稿
 - ・素材の選び方 ・文章表現の確かさ ・内容の深さ
4. アナウンスの技術
 - ・マイクの使い方 ・発声及び発音 ・アクセント ・プロミネンス
 - ・イントネーション・テンポ ・ポーズ

②審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
2. 元気があって明るいのはよいが、いわゆるコンテスト調(歌い上げる調子のもの)に高い評価をしない。
3. 自然で張りのある若々しいアナウンスを高く評価する。
4. スライドが効果的に使用されている場合には全体的な印象点として合計点に加味する。

《朗読部門》

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 原稿に関する項目を30点、朗読の技術に関する項目を70点とする。
3. 原稿
 - ・作品の選び方・朗読部分の抜き出し方
4. 朗読の技術
 - ・マイクの使い方・発声及び発音 ・アクセント ・プロミネンス ・イントネーション ・テンポ ・ポーズ ・内容の把握 ・表現の仕方

②審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
2. 作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。
3. 自然で、深みがある朗読を高く評価する。
4. 効果音・BGMが効果的に使用されている場合には全体的な印象点として合計点に加味する。

《オーディオ・ピクチャー部門》

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 脚本点を50点、制作技術点を50点とする。
3. 脚本点（50点）
テーマに対し、適切な素材を選び、効果的に表現しているか。
 - a. 高校生としてすばらしいできばえである（50点）
 - b. 良く出来た内容である（40点）
 - c. 内容はよいが、いま一步（30点）
 - d. 平凡でおもしろくない（20点）
 - e. もう少し勉強してみても（10点）
4. 制作技術点（50点）
 - (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集
 - (5) 技術（録音の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方、サウンドと音響のリンクなど）
 - a. 特に優れている（50点）
 - b. 優れている（40点）
 - c. 普通である（30点）
 - d. やや劣る（20点）
 - e. はなはだしく劣る（10点）

②審査上の留意点

1. 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
2. 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直ししたものでないかどうか。
3. 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

《ビデオメッセージ部門》

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 脚本点を50点、制作技術点を50点とする。
3. 脚本点（50点）
テーマに対し、適切な素材を選び、効果的に表現しているか。
 - a. 高校生としてすばらしいできばえである（50点）
 - b. 良く出来た内容である（40点）
 - c. 内容はよいが、いま一步（30点）
 - d. 平凡でおもしろくない（20点）
 - e. もう少し勉強してみても（10点）
4. 制作技術点（50点）
 - (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集
 - (5) 技術（録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など）
 - a. 特に優れている（50点）
 - b. 優れている（40点）
 - c. 普通である（30点）
 - d. やや劣る（20点）
 - e. はなはだしく劣る（10点）

②審査上の留意点

1. 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
2. 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直ししたものでないかどうか。
3. 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

第26回全国高等学校総合文化祭放送部門 リハーサル大会
審査員一覧

《アナウンス・朗読部門》

- ◎ 中津川 雅則 (県立平塚江南高校)
- ☆ 山ノ井 友司 (Fm yokohama)
- 山本 良子 (県立金井高校)
- 本田 博都 (県立綾瀬西高校)
- 田中 俊男 (県立新羽高校)

《オーディオピクチャー・ビデオメッセージ部門》

- ◎ 岩崎 章 (県立新栄高校)
- ☆ 清野 文雄 (TVKテレビ)
- 根岸 富男 (県立金井高校)
- 加藤 孝夫 (県立神奈川総合高校)
- 柴田 真理子 (県立市が尾高校)

◎ : 審査チーフ ☆ : 特別審査員

第26回全国高等学校総合文化祭放送部門 リハーサル大会
エントリー一覧

アナウンス部門 (大会議室) 集合場所: 視聴覚室(5階)

部門	番号	氏名	学校名	学年	スライド
【アナ1】 開始時間 12:45 集合時間 12:15					
アナウンス	1	城所友美 (5)	元石川	2	有
アナウンス	2	石田菜奈	六ツ川	2	有
アナウンス	3	原田朋美	神奈川総合	1	有
アナウンス	4	朝倉光代	市ヶ尾	1	/
アナウンス	5	松井実和子 (4)	捜真女学校高等部	1	有
アナウンス	6	飯田早苗	金井	2	有
【アナ2】 開始時間 12:59 集合時間 12:29					
アナウンス	7	片岡友美	足柄	2	有
アナウンス	8	土田ひとみ	東海大付属相模	1	/
アナウンス	9	内野憲人	大和西	1	有
アナウンス	10	林 聡	法政大学第二	2	有
アナウンス	11	鈴木砂登美	座間	2	有
アナウンス	12	新保優子	市ヶ尾	1	/
【アナ3】 開始時間 13:13 集合時間 12:43					
アナウンス	13	小池麻里絵	相模女子大高等部	2	有
アナウンス	14	大森佐恵子	足柄	1	有
アナウンス	15	山口朋美	大和西	2	有
アナウンス	16	伊藤真奈美	東海大相模	2	/
アナウンス	17	山崎江里子 (1)	多摩	1	有
アナウンス	18	中野英之 (2)	日大藤沢	2	有
【アナ4】 開始時間 13:27 集合時間 12:57					
アナウンス	19	葉山 悠	捜真女学校高等部	1	有
アナウンス	20	瀧澤あい	金井	1	?
アナウンス	21	高瀬真理	法政大学女子	2	/
アナウンス	22	石岡利紗	大和東	2	有
アナウンス	23	子安由利子	神奈川総合	1	有
アナウンス	24	加山恵己	相模女子大高等部	1	有
【アナ5】 開始時間 13:41 集合時間 13:11					
アナウンス	25	小笠原巧乃	相模大野	1	/
アナウンス	26	萬智恵子	平塚江南	2	有
アナウンス	27	片倉ちあき (3)	六ツ川	2	有
アナウンス	28	安齋 晃	法政大学第二	2	有
アナウンス	29	深澤慎也	横浜日野	2	/
アナウンス	30	金子都美 (9)	座間	1	有
【アナ6】 開始時間 13:55 集合時間 13:25					
アナウンス	31	納 美保子 (6)	多摩	2	有
アナウンス	32	西内優貴 (10)	追浜	2	有
アナウンス	33	土屋玲奈 (8)	元石川	2	/

朗読部門

(大会議室)

集合場所: 視聴覚室(5階)

⑥ 金井 悠 (4) いるけ
⑤ 女 子 大 学 (3) 女 子

部門	番号	氏名	学校名	学年	SE-BGM
【朗読1】 開始時間 10:00 集合時間 9:30					
朗読	1	中尾紗綾香	有馬	1	/
朗読	2	加島慎也	座間	1	MD
朗読	3	佐久間珠理	追浜	2	/
朗読	4	栗原麻実	相模女子大高等部	2	MD
朗読	5	安達智統	相洋	2	/
朗読	6	柄沢惟代	元石川	2	MD
【朗読2】 開始時間 10:17 集合時間 9:47					
朗読	7	釘貫聖子	海老名	2	/
朗読	8	吉田美里	相模田名	1	カセット
朗読	9	加藤 拓	法政大学第二	2	?
朗読	10	豊田正義	足柄	2	MD
朗読	11	柳川信亮	日大藤沢	2	/
朗読	12	上村朋代	大和東	2	MD
【朗読3】 開始時間 10:34 集合時間 10:04					
朗読	13	近藤明菜	東海大相模	2	/
朗読	14	小林 晶	大和西	1	MD
朗読	15	雑賀朋子	法政大学女子	1	/
朗読	16	沓掛由花	日大藤沢	1	?
朗読	17	舩渡川優香	向上	1	/
朗読	18	坂本達哉	多摩	2	MD
【朗読4】 開始時間 10:51 集合時間 10:21					
朗読	19	前田菜都美	元石川	1	/
朗読	20	渡辺恵美	金井	2	MD
朗読	21	加藤裕美	横浜日野	2	/
朗読	22	荒川瑞穂	神奈川総合	2	MD
朗読	23	酒井絢子	追浜	2	/
朗読	24	筒井彩乃	大和西	1	MD
【朗読5】 開始時間 11:08 集合時間 10:38					
朗読	25	横溝健一	麻布大附属浏野辺	2	/
朗読	26	稲葉由香	六ツ川	2	MD
朗読	27	元木珠美	市ヶ尾	1	/
朗読	28	大関智子	捜真女学校高等部	2	?
朗読	29	荒木光	横浜日野	2	/
朗読	30	平野賢治	金井	1	MD
【朗読6】 開始時間 11:25 集合時間 10:55					
朗読	31	金井 悠	向上	2	/
朗読	32	安田光子	足柄	2	MD
朗読	33	安西 望	海老名	2	/
朗読	34	高橋友美	大和東	2	MD
朗読	35	宮崎真実	法政大学女子	1	/
朗読	36	落合香織	座間	1	MD

① 女 子

⑤

④

②

③

⑥

⑧

朗読 15: = 21:45 ~ 22:00

18:00 (2)

AP・VM部門

(大ホール)

集合場所: 舞台下手(向かって左側)

部門	番号	学校名	制作代表者	学年	規格
【番組1】 開始時間 9:50 集合時間 9:20					
AP	1	法政大学第二	堂田啓祐	2	2台
VM	2	座間	石川正也	1	SVHS
VM	3	横須賀	山口 修	2	DV
【番組2】 開始時間 10:08 集合時間 9:38					
AP	4	平塚江南	尾崎和人	1	2台
VM	5	金井	平野賢治	1	DV
VM	6	日本大学	二井谷真輝	2	SVHS
【番組3】 開始時間 10:26 集合時間 9:56					
AP	7	相模女子大高等部	宮沢浩美	2	2台
VM	8	日大藤沢	鈴木エリカ	1	SVHS
VM	9	六ツ川	池田良輔	2	DV
【番組4】 開始時間 10:44 集合時間 10:14					
AP	10	向上	角田寛海	2	1台
VM	11	法政大学第二	田中彬浩	2	SVHS
VM	12	相模女子大高等部	海老沢葉夕	2	DV
【番組5】 開始時間 11:02 集合時間 10:32					
AP	13	神奈川工業	竹本愛理	2	2台
VM	14	大和西	佐原寿恵子	2	DV
VM	15	大船工業技術	倉持和明	2	SVHS
【番組6】 開始時間 11:20 集合時間 10:50					
AP	16	座間	梅村美樹	2	2台
VM	17	東海大付属相模	中野有美子	2	VHS
VM	18	永谷	鳥巢佑香	2	DV
【番組7】 開始時間 11:38 集合時間 11:08					
AP	19	大和西	内野憲人	1	2台
VM	20	麻布大付属淵野辺	田中 愛	1	VHS
VM	21	向上	煤田 剛	2	VHS
【番組8】 開始時間 13:00 集合時間 12:30					
AP	22	捜真女学校	飯田沙織	1	2台
VM	23	川崎市立商業	遠藤貴彬	2	VHS
AP	24	永谷	和田昌久	1	2台
【番組9】 開始時間 13:20 集合時間 12:50					
VM	25	多摩	木平奈緒	2	VHS
AP	26	座間	田古島太一	1	2台
VM	27	法政大学第二高校	堂田啓祐	2	SVHS
【番組10】 開始時間 13:40 集合時間 13:10					
AP	28	追浜	佐久間珠理	2	2台
VM	29	日大藤沢	浅井一仁	2	SVHS
AP	30	足柄	大森佐恵子	1	2台
【番組11】 開始時間 14:00 集合時間 13:30					
AP	31	法政大学第二	増島一成	2	2台
VM	32	座間	富樫健二	1	SVHS
AP	33	相模女子大高等部	栗原麻実	2	2台

<AP部門>

	部門	番号	学校名	制作代表者	学年	規格
1	AP	1	法政大学第二	堂田啓祐	2	2台
2	AP	4	平塚江南	尾崎和人	1	2台
3	AP	7	相模女子大高等部 (1)	宮沢浩美	2	2台
4	AP	10	向上	角田寛海	2	1台
5	AP	13	神奈川工業	竹本愛理	2	2台
6	AP	16	座間 (4)	梅村美樹	2	2台
7	AP	19	大和西	内野憲人	1	2台
8	AP	22	捜真女学校	飯田沙織	1	2台
9	AP	24	永谷 (4)	和田昌久	1	2台
10	AP	26	座間 (5)	田古島太一	1	2台
11	AP	28	追浜	佐久間珠理	2	2台
12	AP	30	足柄 (3)	大森佐恵子	1	2台
13	AP	31	法政大学第二	増島一成	2	2台
14	AP	33	相模女子大高等部 (2)	栗原麻実	2	2台

<VM部門>

	部門	番号	学校名	制作代表者	学年	規格
1	VM	2	座間 (2)	石川正也	1	SVHS
2	VM	3	横須賀	山口 修	2	DV
3	VM	5	金井	平野賢治	1	DV
4	VM	6	日本大学	二井谷真輝	2	SVHS
5	VM	8	日大藤沢	鈴木エリカ	1	SVHS
6	VM	9	六ツ川	池田良輔	2	DV
7	VM	11	法政大学第二	田中彬浩	2	SVHS
8	VM	12	相模女子大高等部	海老沢菜夕	2	DV
9	VM	14	大和西	佐原寿恵子	2	DV
10	VM	15	大船工業技術	倉持和明	2	SVHS
11	VM	17	東海大付属相模	中野有美子	2	VHS
12	VM	18	永谷	鳥巢佑香	2	DV
13	VM	20	麻布大附属淵野辺	田中 愛	1	VHS
14	VM	21	向上	煤田 剛	2	VHS
15	VM	23	川崎市立商業	遠藤貴彬	2	VHS
16	VM	25	多摩	木平奈緒	2	VHS
17	VM	27	法政大学第二 (1)	堂田啓祐	2	SVHS
18	VM	29	日大藤沢 (1)	浅井一仁	2	SVHS
19	VM	32	座間 (2)	富樫健二	1	SVHS

神奈川県高等学校総合文化祭の紹介

「神奈川県高等学校総合文化祭放送部門」は神奈川県高等学校文化連盟が主催する「神奈川県高等学校総合文化祭」の放送部門として行われています。総文祭には全部で22の部門があり、放送部門もそのうちの一部門です。

各部門は毎年11月から翌年の1月にかけて県下の各地でそれぞれの催しを行っています。

「神奈川県高等学校総合文化祭」の開会式は10月28日(日)に国立横浜国際会議場で「全総文祭 2002 プレ総合開会式」として行われました。閉会式は来年1月19日(土)に、横浜市西公会堂で行われる予定です。今回の総合文化祭放送部門の優秀作品の表彰は、この閉会式で他の部門と共に行われます。

「神奈川県高等学校総合文化祭」の開会式、閉会式運営には、放送関係から次の方々が携わっています。

1. 式の運営

県高文連	放送情報専門部	部会長	五十嵐 薫 (県立厚木南高等学校)
同		理事	川又 弘明 (県立元石川高等学校)
同		事務局長	井浦 洋 (県立六ツ川高等学校)
同		編集委員	金子 英樹 (県立大船工業技術高等学校)
同	総合文化祭実行委員	北詰 昌敬 (法政大学第二高等学校)	
同	総合文化祭生徒委員	安斉 晃 (法政大学第二高等学校)	
同	総合文化祭生徒委員	福寿 直樹 (法政大学第二高等学校)	

2. プレ総合開会式の司会者

山崎 江里子 (県立多摩) 日置 秀馬 (県立六ツ川)

3. プレパレードの司会者

《スタート地点》 正垣 知美 (法政女子) 沖久 真鈴 (富士見丘)
《中間地点》 酒井 絢子 (県立追浜) 山口 朋美 (県立大和西)

4. プレ総合開会式の音声ガイド

納 美保子 (県立多摩) 熊澤 礼花 (県立平塚江南)

5. 閉会式の司会者

沖久 真鈴 (富士見丘) 荒木 光 (県立横浜日野)

諸 注 意

1. 作品・スクリプトの提出は11月11日に終わっています。
大会当日の変更はできません。
A P部門のスライドは、直接持参してください。
2. 生徒控室（飲食場所）は3階の第5~7会議室です。
ホール等、他の場所では飲食をしないでください。
また、この部屋は、14時に閉鎖します。
3. ゴミは必ず自分で持ち帰ってください。
4. 立入禁止区域には入らないでください。
大会当日は、全館貸切ではありませんので、他の団体が使用しています。
5. 審査中は静かにしてください。
特に会場内や廊下などは静かにしてください。
会場の出入りは審査の合間に行ってください。
6. 発声練習は、5階の視聴覚室で行ってください。
7. 集合時間は、発表の30分前です。
集合場所は、
A P・V M部門 : 大ホール下手脇（向かって左側）
アナウンス・朗読部門 : 視聴覚室（5階）
8. 発表は、数人がグループになります。
集合した後に、誘導係より詳しい説明を行います。
9. この大会では、全国大会に順じて交流会を以下の時間に行います。
ぜひ参加してください。
☆大ホール ① 12:00~12:20
 ② 14:25~14:40
☆大会議室 ① 11:45~12:05
10. 発表が終了した作品の台本・テープ・講評は、午後から受付(中2階)で返却します。閉会式終了時までには必ず受け取ってください。